旭中央病院の財政状況

旭中央病院では、皆さんに病院の経営状態を知ってもらうため、毎年の財政状況を公表しています。

引き続き黒字

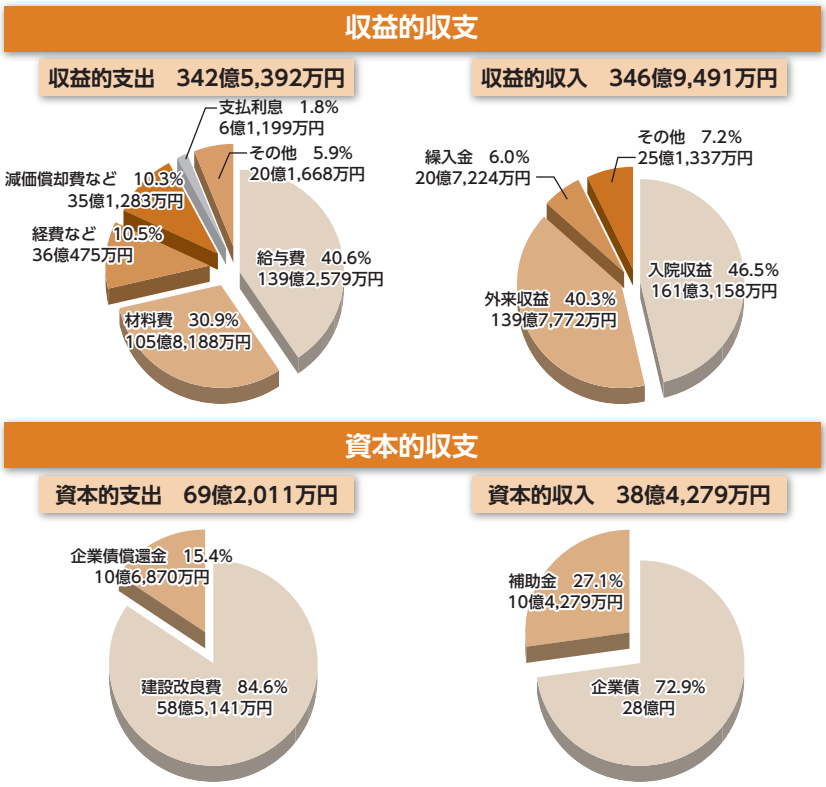
病院経営などによる収支(収益的収支)は、収入346億9、491万円、支出342億5、392万円、税引き後利益は、4億576万円となりました。

収入の内訳は、入院収益161億3、158万円(46・5%)、外来収益139億7、772万円(40・3%)が主なものです。

支出の内訳は、給与費139億2、579万円(40・6%)、材料費105億8、188万円(30・9%)、経費など36億475万円(10・5%)と続きます。

病院施設などの建設・整備にかかる収支(資本的収支)は、収入38億4、279万円、支出69億2、011万円となり、不足分は病院事業内の留保資金(減価償却費など)から充当しました。支出項目の建設改良費58億5、141万円は、より質の高い医療を提供するため、再整備事業や器具備品・ソフト開発費などに充てられます。

平成23年度は、東日本大震災の影響や本館への引っ越し作業により、患者数が減少したことや、本館完成により、減価償却費が10億円程度増加するという厳しい経営環境でしたが、前年度に続き利益を上げることができました。今後も健全な経営を維持できるよう、さまざまな施策に取り組んでいきます。



平成23年度も健全経営を堅持

再整備事業の状況

既存棟の改修工事を行い、主に外来機能を集約しました。また2号館と3号館をつなぐ連絡通路と職員食堂棟の建設を行い、連絡通路は10月から使用を開始しています。これにより、ここちの医療センターやPET画像診断センターが本館から近くなり、移動が便利になりました。

今後は既存建物の解体工事を予定しています。工事は安全対策をはじめ、騒音や粉じん対策などに配慮しながら行います。

問い合わせ先
旭中央病院総務人事課
☎63-8111(代表)